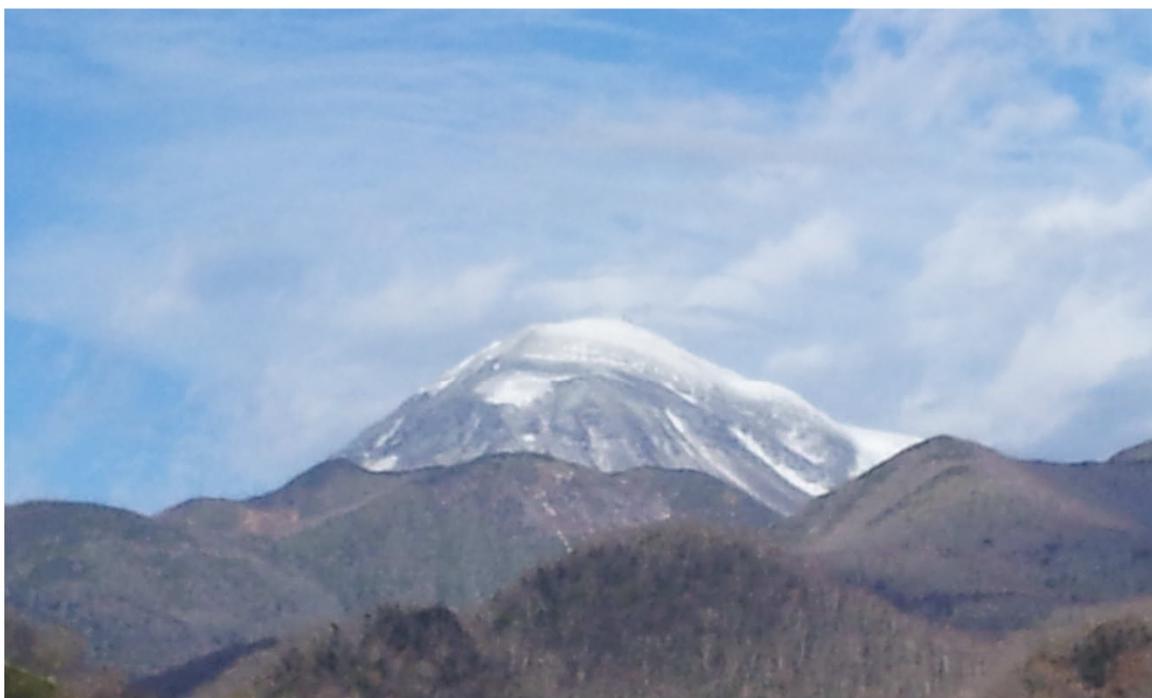




平成25年度 決算報告

羅臼の台所事情

～ 町のお金はこのように使われました ～



羅臼町役場 税務財政課

◆平成26年12月発行◆

羅臼町のお金の使われ方について説明します。皆さんの支払った税金や国・道から支払われるお金がどれだけあり、どのようなところに使われているのかをお知らせします。



町には6つの会計があり、それぞれ歳入と歳出があります。全体を見てみましょう。

平成25年度 決算

		歳入	歳出	差引
1.一般会計		38億5,209万円	37億9,481万円	5,728万円
特別会計	2.国民健康保険	11億4,493万円	10億7,871万円	6,622万円
	3.介護保険	4億3,397万円	4億1,072万円	2,325万円
	4.後期高齢者医療	5,764万円	5,732万円	32万円
	5.国民健康保険診療所	1億4,609万円	1億4,477万円	132万円
公営企業会計	6.水道事業	2億3,903万円	3億8,863万円	△1億4,960万円

※本書に掲載している数字については、端数処理を行なっています。

2020年に東京オリンピック開催が決定し、日本中が歓喜した平成25年度には、指定管理者による施設運営を増やしていきました。羅臼町老人福祉センター「福寿園」を、NPO法人ゆとりステーションに、羅臼町体育館を、NPO法人羅臼スポーツクラブらに委託し、より利用しやすい施設になっていると思います。その他に、大型客船「日本丸」が寄港し、町外の多くの方が、羅臼町を楽しんで頂けたものと思います。

車両の更新では、学校給食配送車や、じん介収集車を購入し生活環境の改善に努めました。また、中学校校舎の体力度調査を実施し、中学校建設が動き始めた年で、これからも漸進していきますが、今後とも町政運営にご理解とご協力をお願いします。

歳入

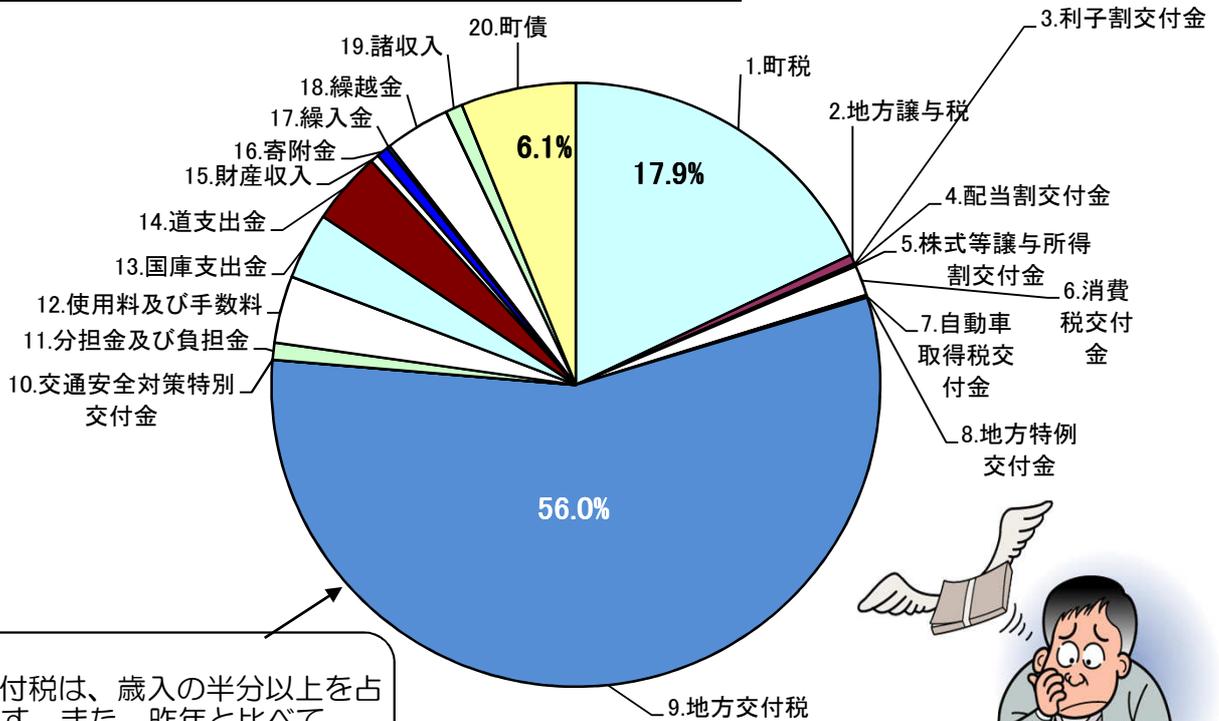
(町に入ってくるお金です)

私たちが納めた税金は、
全体の17.9%です。



1.町税	6億 9,022万円	町民の皆さんからの税金
2.地方譲与税	1,955万円	自動車重量税等、国税から町への配分
3.利子割交付金	190万円	預金利子に係る税の交付金
4.配当割交付金	167万円	株式等の配当に対する道税からの配分
5.株式等譲与所得割交付金	228万円	株式等の譲渡益に対する道税からの配分
6.地方消費税交付金	6,202万円	国から町に交付される消費税
7.自動車取得税交付金	505万円	自動車取得税の交付金
8.地方特例交付金	77万円	国の減税により町の収入不足を補うための交付金
9.地方交付税	21億 5,665万円	国から配分される税金
10.交通安全対策特別交付金	0万円	交通安全対策のための交付金
11.分担金及び負担金	3,535万円	幼稚園や福祉施設などの利用者の負担金
12.使用料及び手数料	1億 3,809万円	町営住宅使用料や戸籍等の証明手数料
13.国庫支出金	1億 3,789万円	国からの補助金や負担金
14.道支出金	1億 4,898万円	道からの補助金や負担金
15.財産収入	1,756万円	町有財産の賃貸料や預金利息
16.寄附金	2,441万円	町民の皆さんや多くの方々からの寄附金
17.繰入金	581万円	町の貯金(基金)からの繰入金
18.繰越金	1億 3,373万円	前年度から持ち越したお金
19.諸収入	3,477万円	その他の収入
20.町債	2億 3,539万円	地方交付税の削減分の一部を借りるお金や建設事業を実施するための借金

歳入総額 38億5,209万円



9.地方交付税は、歳入の半分以上を占めています。また、昨年と比べて約3700万円程度減少しています。



歳出

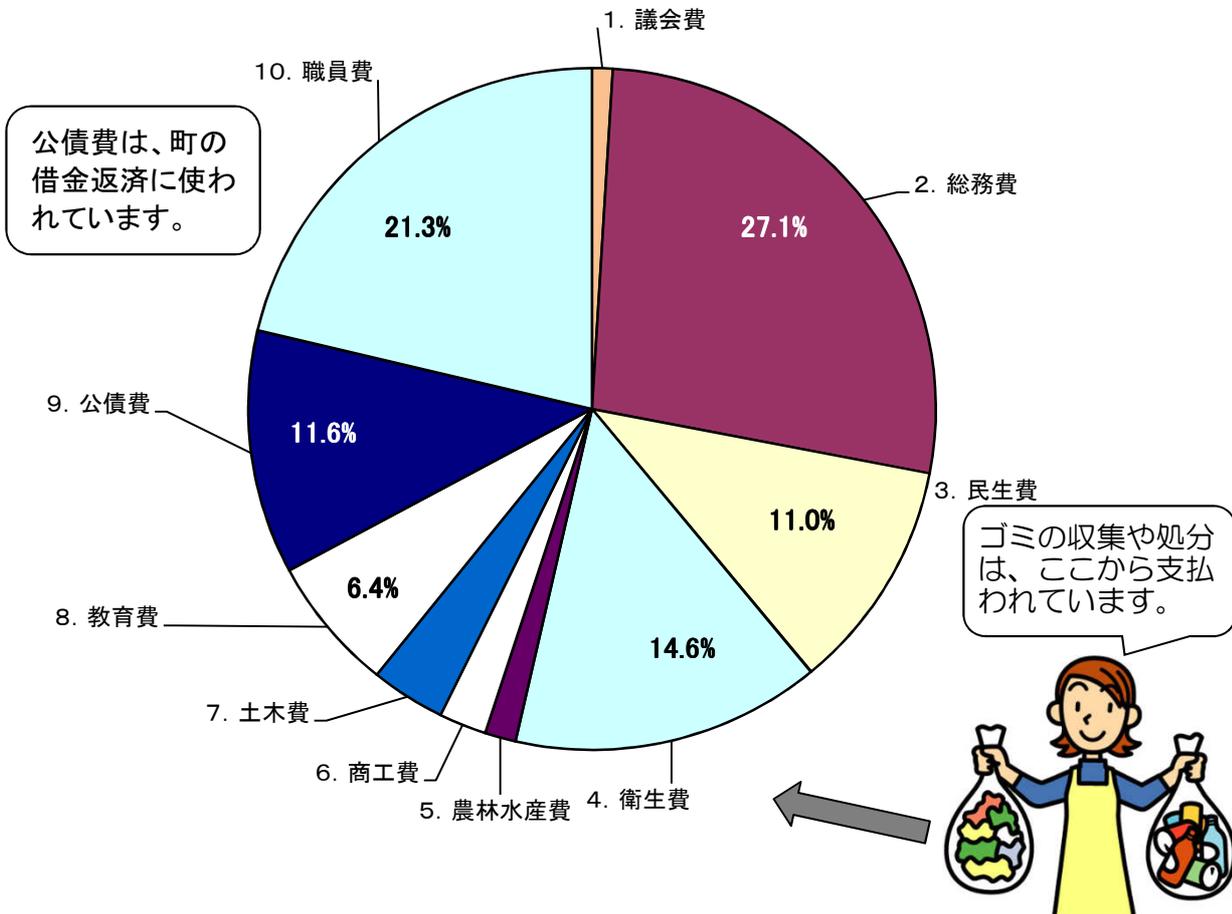
(町のために使われたお金です)

1. 議会費	3,640 万円	議員の報酬や議会活動のための経費
2. 総務費	10 億 2,706 万円	町の財産管理や消防署を運営するための経費
3. 民生費	4 億 1,684 万円	高齢者や身体障がい者等の福祉などの経費
4. 衛生費	5 億 5,298 万円	保健、合併浄化槽、ゴミ等の環境対策の経費
5. 農林水産費	5,517 万円	農林・水産業の振興や深層水活用等の経費
6. 商工費	8,486 万円	商工業・観光振興や世界自然遺産の保護管理等の経費
7. 土木費	1 億 3,304 万円	道路整備、維持補修や除雪等の経費
8. 教育費	2 億 4,213 万円	小中学校や幼稚園、社会教育、体育館事業等の経費
9. 公債費	4 億 3,841 万円	事業を行うために借りたお金の償還金
10. 職員費	8 億 792 万円	職員の人件費



昨年と比べ、約4,300万円の支出増となっています。
各費目の詳しい支出については次のページをご覧ください。

歳出総額 37億9,481万円



★どんな事に使われているのでしょうか？★

1 議会費	議会議員の報酬や議会運営するための経費	3,640 万円
-------	---------------------	----------

2 総務費		10 億 2,706 万円
	役場庁舎の管理費	3,037 万円
	消防署を運営するための負担金	2 億 4,054 万円
	中学校建設基金やまちづくり基金（貯金）等	5 億 4,761 万円
	町内バス（100円バス）を運行するための委託料	3,125 万円
	公営住宅の補修費等	1,623 万円
	町内防犯灯や電気料補助等	401 万円
	電子自治体情報システム負担金や町ホームページの経費	2,606 万円
	防災無線維持管理費	637 万円
	その他公立学校住宅償還金や各種選挙の経費等	1 億 2,462 万円



消防署では、町民の安心・安全な暮らしを守るために活動しています。



3 民生費		4 億 1,684 万円
	福寿園の管理運営費	642 万円
	各種福祉館の管理に要する経費	312 万円
	老人ホーム入所に係る措置費	298 万円
	身体障がい者補装具給付費や施設入所支援費	1 億 251 万円
	特別会計（国民健康保険）への繰出金	4,227 万円
	特別会計（介護保険）への繰出金	6,063 万円
	特別会計（後期高齢者医療）への繰出金	1,659 万円
	児童手当等の給付	8,972 万円
	その他介護予防生活支援事業や重度心身障がい者医療扶助等	9,260 万円



4 衛生費

5億 5,298万円

生活習慣病・がん検診・各種予防接種に関する経費	1,587万円
葬斎場や墓地管理運営経費	576万円
特別会計（国保診療所）への繰出金	1億 2,210万円
公営企業会計（水道事業）への繰出金	3,365万円
合併浄化槽を普及するための助成金等	605万円
し尿処理やゴミの収集・処分に係る経費	3億 3,650万円
アキサケの内臓やイカゴロ等の水産物から出る処分費	1,679万円
その他乳幼児医療助成や鳥獣保護管理費等	1,626万円



毎年、ゴミ処理等に約3億円以上使っています。ゴミの量を減らしリサイクルを進めましょう！

5 農林水産業費

5,517万円

家畜排せつ処理施設整備に係る経費等	939万円
土砂崩れや雪崩等を防ぐ保安のための経費	58万円
ウニの生育範囲を広げるための事業	567万円
漁港の整備や維持管理費	971万円
深層水給水施設整備や管理費	271万円
その他ウニ二種苗生産施設や北方領土隣接地域振興事業に要する経費等	2,711万円



6 商工費

8,486万円

商工会を運営するための補助金	966万円
知床開きを実施するための経費	441万円
道の駅内の知床らうす交流センター管理費	557万円
観光協会を運営するための補助金	732万円
公園管理等に要する経費	577万円
世界自然遺産保護等に要する経費	139万円
温泉の整備や維持管理費	1,395万円
その他中小企業資金利子補給金やビジターセンター管理費等	3,679万円



7 土木費

1億 3,304万円

除雪機の借上料・除雪委託料や道路修繕料等	9,503万円
橋りょう補修に要する経費	3,058万円
その他道路・排水施設工事	743万円

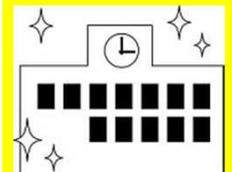


通年の積雪であれば、除雪費等が4千万円ぐらいで済みますが、雪の量が多かったので、9千万円以上にもなりました。

8 教育費

2億 4,213万円

英語指導助手を招くための経費	423万円
各学校のコンピューターリース料等	863万円
各小学校を管理運営するための経費	4,030万円
各中学校を管理運営するための経費	3,080万円
各幼稚園を管理運営するための経費	1,875万円
ふるさと少年探検隊等の事業に係る経費	179万円
公民館の管理運営費	1,098万円
体育館の管理運営費	1,696万円
総合グラウンド管理運営費	956万円
温水プール管理運営費	1,021万円
給食センター管理運営費	5,662万円
その他図書室・郷土資料室やスポーツ振興事業等	3,330万円

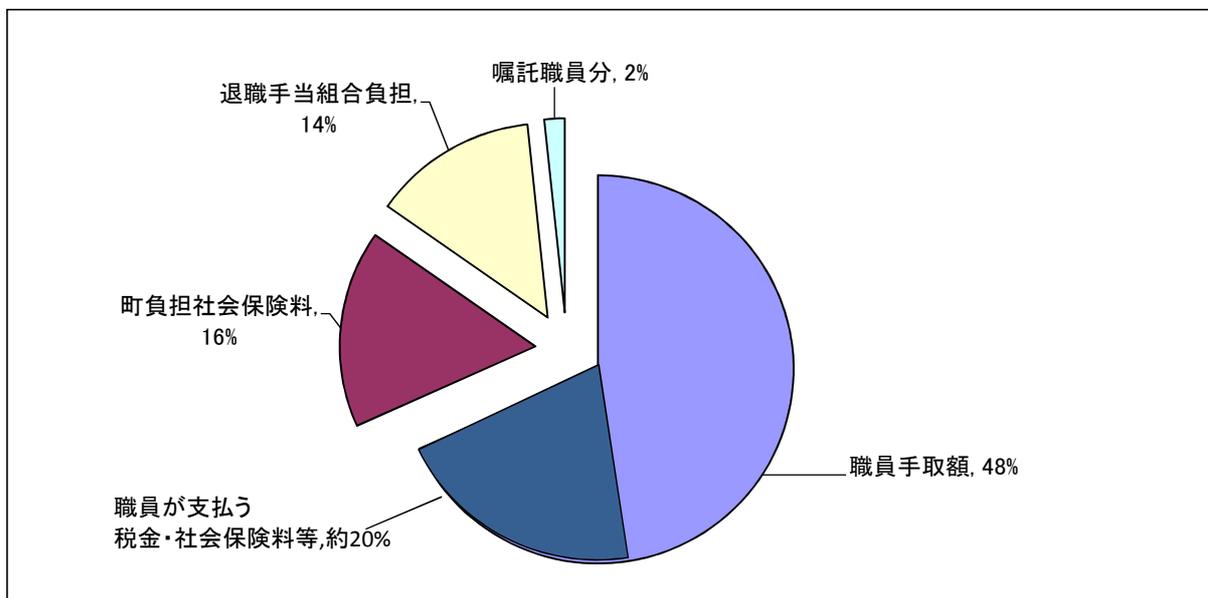


9 公債費

1年間の借金返済額

4億 3,841万円

●職員費全体の支出構成内訳です。



本俸と手当から所得税・町民税・社会保険料・年金等の天引きをし、職員に支払われます。



★町の貯金と借金を町民一人あたりとして計算すると★

ここでは、羅臼町の貯金と借金を町民一人当たりで計算してみたら、いくらになるか計算してみました。



○羅臼町の人口（平成26年3月末人口）
5,639 人

町の人口は
減少傾向です

○貯金（基金という）：全ての会計合計
25億 3,736 万円

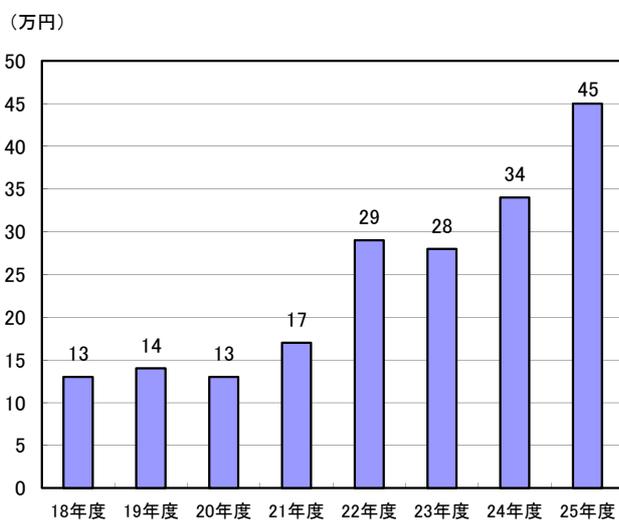
○借金（一般会計起債及び水道会計起債）
51億 2,123 万円

これを元に一人あたりとして計算してみると・・・



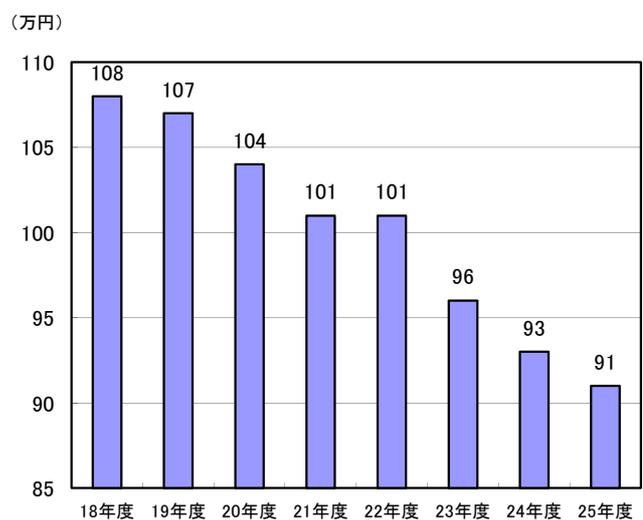
25年度末の
貯金は約45
万円です。

これまでの貯金の推移



25年度末の
借金は約91万
円です。

これまでの借金の推移



今までは、一般会計について説明しましたが、特別会計や公営企業会計についても簡単に説明します。
使われている金額は、1ページをご覧ください。



特別会計	国民健康保険	町全体の50%以上の方が国民健康保険に加入しています。病院受診をした時に本人が支払っているのは3割で、残り7割は国民健康保険から各病院に支払いしています。
	介護保険	高齢により体が不自由になったり認知症の方などが、ヘルパーさんを使った生活介護、施設入所などした場合の料金の9割を支払いしています。 (利用する上で、認定が必要です)
	後期高齢者医療	75歳以上および65歳以上の一定以上の障害のある方が、後期高齢者医療の被保険者になります。 (※70歳以上は原則1割。現役並みの所得を有する者は3割)
	国民健康保険診療所	知床らうす国保診療所の運営に関わる経費です。平成24年7月から指定管理者制度により社会医療法人孝仁会において運営しています。
公営企業会計	水道事業	町内にある3ヶ所の水道施設の維持管理をし、皆さんの家庭まで安全でおいしい水を供給しています。



特別会計や公営企業会計にはそれぞれの役割があるんですね。

滞納が財政を圧迫しています。

～税金や使用料等の滞納状況～

町	税	1億2,060万円
国	保 税	1億3,746万円
介 護 保 険 料		754万円
水	道 料	2,418万円
給 食 費 負 担 金		263万円
後期高齢者医療保険料		22万円
診 療 所 診 療 収 入		258万円
住 宅 使 用 料		3,538万円
土地使用料・その他		1,333万円
合	計	3億4,392万円

町民は、税金や使用料を支払う義務があり、その支払われたお金は町の運営を支えるための重要なものです。

しかし、上記のとおり多額の滞納があり、町の運営に大きな支障となっています。

町では公正・公明・公平の観点から滞納金の回収に力をいれており、税については町独自の差押さえはもとより、釧路・根室広域地方税滞納整理機構を活用しながら、強力に滞納整理を推し進めています。